

長支第543号

令和3年8月24日

住民主体の通いの場代表者 各位

認知症カフェ代表者 各位

老人クラブ会長 各位

山形市長 佐藤 孝弘

(公印省略)

高齢者を対象とする地域活動の実施にあたっての留意事項等について (通知)

日頃より、山形市の福祉行政につきましてご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、山形県内において新型コロナウイルス感染症の感染が広がりを見せており、今後も更なる感染拡大が懸念されております。

これを受け、令和3年8月20日、山形県と山形市が共同で協力要請(別添1)を発出し、第5波の1日も早い収束を目指し、医療提供体制の崩壊を防ぐために令和3年8月20日から令和3年9月12日までを「感染拡大防止特別集中期間」とし、外出は普段の2分の1に減らすこと、会食はいつも一緒にいる人3人以内、1時間程度とすること等についてお願いしております。

こうした状況を踏まえ、やむを得ず高齢者を対象とする地域活動を継続して実施いただく場合には、不織布マスク着用、手指の消毒、3つの密の回避、換気の励行等の感染防止対策をこれまで以上に徹底いただくととともに、お茶飲み等の会話をしながらの飲食は控えていただくよう、改めてお願い申し上げます。特に、これまで感染が確認された方を見ると、何らかの形でマスクを外しているケースが多く見られている現状があり、ワクチン接種を2回済ませている方でも感染する可能性がありますので、ウイルス飛散防止効果の高い不織布マスク(参考資料)の着用を徹底していただくようお願いいたします。

また、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために」(別添2)を送付いたしますので、活動の際にご活用いただきますようお願い申し上げます。

加えて、山形市では、活動の実施にあたって、助言等の支援を行いますので、ご相談等ございましたら下記担当までご連絡ください。

【担当】 山形市長寿支援課 641-1212 (代表)
○住民主体の通いの場・認知症カフェ (内線568)
○老人クラブ (内線563)

山形市民・事業者・学校関係の皆様へ

県外との往来に起因する新型コロナ第5波の1日も早い収束を目指し、医療提供体制の崩壊を防ぐために、8月20日(金)から9月12日(日)までを「感染拡大防止特別集中期間」とし、県民を挙げて感染防止対策に取り組めます。

ここで、私達から皆様に、基本的な感染拡大防止対策の徹底に加え、下記のとおりお願いがあります。

1 山形市民の皆様へ

- ・ 県外との不要不急の往来は厳に控えてください。(通勤、通学などを除く)
- ・ 外出は普段の2分の1に減らし、買い物も短時間で済ませてください。
- ・ 会食は、いつも一緒にいる人と3人以内、1時間程度で。
(お店を利用する場合は、できるだけ新型コロナ認証店で)
- ・ 県外との往来や家族以外の人との会食など、感染リスクが高い行動の後は、家庭内でも不織布マスクを着用してください。
- ・ ワクチンを2回接種した方も、引き続き不織布マスクを着用してください。

2 事業者の皆様へ

- ・ 県外への出張は普段の2分の1に減らし、オンラインの活用などを検討してください。
- ・ 在宅勤務(テレワーク)やローテーション勤務など、人と人の接触の機会を減らす取組みを進めてください。
- ・ ドアノブ、手すり、スイッチ、トイレ、洗面所などの共用部分をこまめに消毒してください。
- ・ 体調が優れない人が、気兼ねなく休み、医療機関を受診できる環境を整備してください。

3 学校関係の皆様へ

- ・ 夏休みが終わり、学校の授業が開始されるにあたり、児童生徒の健康観察を徹底してください。
- ・ 部活動は、自校内に限定してください。また、部活動前後での複数人による飲食は控えてください。
- ・ 文化祭、体育祭等の学校行事は、一般公開はせず、他校との交流は控えてください。
- ・ 県外への修学旅行は、延期・変更してください。

令和3年8月20日

山形県知事 吉村 美栄子
山形市長 佐藤 孝弘

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために

～高齢者の地域活動に向けて注意してほしいこと～

□事前に会場・物品などについて確認しましょう。

● 地域活動へ参加する前に

次の項目に当てはまる場合は、参加を控えてもらいましょう

また、事前に体温を測りましょう

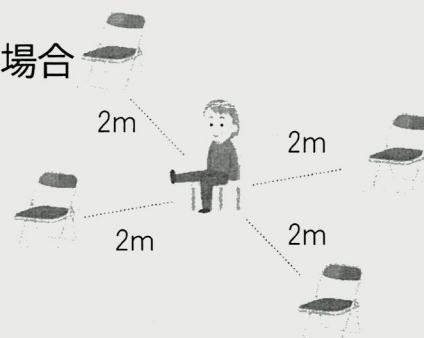
- 発熱や風邪の症状がある場合
- 息苦しさ、強いだるさ、咳やのどの痛みなどがある場合



● 3つの密(密閉・密集・密接)を回避

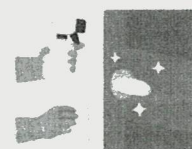
次の項目を守りましょう

- こまめな換気をする
(1時間で2回以上。1回数分間。2方向の窓やドアを全開に。)
- 他の人との間隔は、できるだけ2メートル以上空ける
- 会話をする時は真正面を避け、十分な距離を保ち、
不織布マスクを正しく着用する



● 感染防止対策の徹底

- まめな手洗い、手指のアルコール消毒の徹底
- 不織布マスクの正しい着用、咳エチケット
- 参加者の把握(名簿に連絡先等を記録する)
- 椅子やドアノブ等、手の触れる場所の消毒
- 貸出品(重りなど)の十分な消毒
(十分な消毒が出来ない場合は貸し出ししない)
- 歌は控え、大きな声を出す機会を少なくする
- 息が荒くなるような運動は避ける
- こまめな水分補給や室温調整(熱中症予防)



一人ひとりの感染防止対策が大切です！

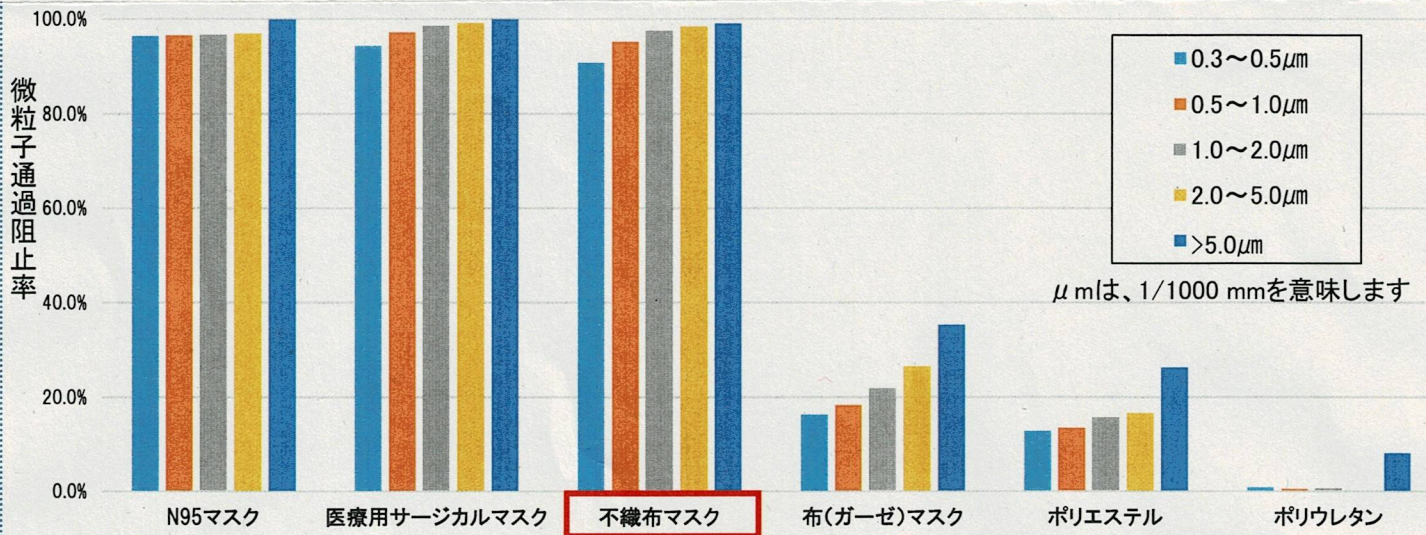
不織布マスクを推奨します

下の図は、マスクの素材により、どれだけ空中に浮いている微粒子の通過を阻止するかを示したグラフで、微粒子の大きさごとに通過阻止率を示しています。100%が完全に阻止した場合です。

ウレタンではほとんど阻止されず、ウイルスの吸い込み防止にはほとんど無力です。不織布がお奨めです。ただし、不織布マスクも総使用時間が12時間を超えると劣化が始まります。

(仙台医療センター ウイルスセンター長 西村秀一博士より)

マスクの素材別微粒子通過阻止率



R3.4.27 山形市からのお知らせ～新型コロナウイルス感染症関連～より一部抜粋

不織布マスク

